

令和5年度 第2回生涯学習センター運営審議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年2月21日（水） 10時00分～11時30分
- 2 開催場所 宇都宮市役所14D会議室（宇都宮市役所14階）
- 3 出席委員 16名  
坪井委員長，菊地委員，齋藤委員，上野秀雄委員，寺山委員，阿久津秀夫委員，  
岡田委員，渡邊委員，阿久津節子委員，稲葉委員，斉藤委員，谷内委員，  
半田委員，高橋委員，遠藤委員，上野恵美子委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開

5 傍聴者 0名

6 内容

・議事

【協議事項】

- (1) 令和5年度生涯学習センター事業実績及び  
令和6年度生涯学習センター事業計画（案）について

【報告事項】

- (1) 令和6年宇都宮市二十歳を祝う成人のつどいについて  
(2) 第45回全国公民館研究集会・第63回関東甲信越静公民館研究大会長野大会について

7 発言の要旨

委員長

それでは，議事を進めて参りたいと思います。  
円滑な議事進行ができますよう，委員の皆様のご協力をお願いいたします。  
まず，協議事項(1)「令和5年度生涯学習センター事業実績及び令和6年度生涯学習センター事業計画（案）」について，事務局から説明をお願いいたします。

事務局

【令和5年度生涯学習センター事業運実績及び  
令和6年度生涯学習センター事業計画（案）について 説明】

委員長

「令和5年度生涯学習センター事業実績及び令和6年度生涯学習センター事業計画（案）」について，説明が終わりました。ただ今の説明につきまして，ご意見，ご質問等ございましたら，お願いいたします。

委員

【別紙1】「令和6年度生涯学習センター事業運営の考え方」について、「4 生涯学習センターの役割」の中に、「地域の学習活動の重点として、（中略）地域教育に関わる本市の多様な分野の計画も踏まえた、多様な学習機会の提供を通じた、意識醸成の推進」とありますが、生涯学習センターのカリキュラムの中で細かく実施するというよりは、講座の前段で軽く取り入れるということなのではないでしょうか。【別紙1】の括弧の中にも、「各分野の講座を開催するわけではなくても、アイスブレイクで各分野の意識醸成を取り入れる、各分野の啓発チラシを配布する等も含む」とありますが、それぞれが重い内容であり、しっかりと講座内に取り入れ、実施することは難しいと思います。生涯学習センターの役割として、今、行政が目玉としている項目を、講座内で話題に出していくということなのではないでしょうか。

委員長

ご質問ありがとうございます。事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局

【別紙1】「4 生涯学習センターの役割」に記載のとおり、市の施策について、しっかりと講座に取り入れるとなると、なかなか難しい面もあります。そのため、「きっかけ」という視点から、主催講座の前段や、4回講座のうち1回の中に、各分野の内容をアイスブレイクとして盛り込むなど、地域教育に関わる各分野の意識醸成の推進を「生涯学習センターの役割」の中に取り入れたところでございます。

委員長

ありがとうございます。他にご意見・ご質問はございますか。

委員

2点ほどございます。まず、【本編資料】の7ページ、回答欄の上から3行目に、「平日夜間や土曜の開催を視野に入れて実施していきたいと考えている」とありますが、【別紙1-2】「令和6年度生涯学習センター事業計画書（案）」を、18センター分を一読したところ、平日夜間や土日の開催が少々見えにくく、明確に記載されている事業計画書がそう多くない印象でした。この一因として、各生涯学習センターの準備に時間がかかるというようなことが考えられるのでしょうか。

また、【本編資料】の10ページ、回答欄の上から5行目に、「段階で応じた事業や開催方法等を検討しながら、レベル別の実施にも対応していく」とありますが、参加者の状況を特定しての講座の実施は、とても面白い試みであると思います。しかしながら、レベル設定による講座を優先先行させた方が、参加者も満足感を得ることができるよう気がいたしますので、より効果的な講座の運営になると考えます。イメージとしましては、豊郷生涯学習センターの「スマホステップアップ講座」のような実施がよろしいかと思っております。

坪井委員長

ご質問ありがとうございます。まず、1点目として、平日夜間や土曜の開催等が【別紙1-2】「令和6年度生涯学習センター事業計画（案）」に

明確に記載されていないことについての状況や、レベル設定を先行した、企画に見合った講座の実施について、事務局からご説明をお願いいたします。

事務局

平日夜間や土日の講座の実施については、資料上、少々見えにくいところのご指摘がありました。現在は計画の段階であり、今後、多少変わることもございます。実際に、令和4年度と令和5年度を比較すると、平日夜間や土日の講座は、令和5年度の実施数が増加しており、今後も市民のニーズに応えた講座を実施していきたいと考えております。また、資料の記載方法については、今後、検討させていただきます。

レベル設定を先行した講座の実施については、各生涯学習センターで、参加者の状況やレベルに見合った講座を実施してまいりたいと思います。ご意見ありがとうございます。

委員長

ありがとうございます。他にご意見・ご質問はございますか。

委員

事務局にお伺いしたいことと、意見がいくつかございます。

まず、資料に「Vスタッフで企画している」とありますが、この「Vスタッフ」とは何なのか、教えていただきたいと思います。

また、先程から何度か、QRコードや電子申請システムを使って情報発信をしていくという話がありますが、これは、すぐデジタル技術を活用した状態に進んでいくものなのか、それとも、1年間ほど時間をかけて変えていくものなのか、スピード感について、ご説明をお願いいたします。

ここから先は意見となります。1点目ですが、これからある講座の申込を自分がしたいときに、昨年の講座の雰囲気や内容を知りたい方が多くいらっしゃると思いますが、市のホームページ等には昨年度の様子がわかるものの掲載がないようです。そのため、今後、講座のお知らせなどがあるときには、ぜひ、前回の様子がわかるような、写真やコメントなどを掲載してもらえると、参加しやすいと思います。

2点目として、自分が住む地区の生涯学習センターがどのような事業を実施しているのか、日常生活では目にも耳にもせず、子どもが学校からプリント等を持ち帰ってこないと分からないため、あえて探さないと情報が手に入らないのが現状です。そのため、例えば、「さくら連絡網」で、自分の地区の生涯学習センターの講座の広報を半年に1回ぐらい掲載することで、幅広く周知ができるのではないかと思います。また、市ホームページには、「まなびの施設ガイドブック」が掲載されていますが、とても良い情報なのに、周囲で見かけたことはなく、興味のある人でないと見ないものとなっているので、もっと父母世代にわかりやすい形での情報提供があると良いと考えます。

委員長	<p>ありがとうございます。それでは、ご意見の1点目が「Vスタッフ」について、2点目がデジタル技術の導入に関するスピード感について、また、3点目が情報発信・提供の工夫や改善について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>まず、1点目の「Vスタッフ」について、お答えいたします。「Vスタッフ」は通称の名称でございまして、正式名称は「宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ」というものです。生涯学習センターなど、各所で実施されている講座の企画運営は、生涯学習に携わる職員が中心となるだけではなく、もっと市民目線の多角的な視点での実施も重要であることから、ボランティアとして、各生涯学習センターの主催講座や、あるいは宇都宮市民大学の各種講座を企画する方達で、現在、60名ほど登録者があります。「講座企画・運営ボランティアスタッフ（Vスタッフ）養成講座」を実施し、その修了者が「Vスタッフ」として活動をされているところでございます。</p>
委員長	<p>2点目の、デジタル技術の導入・活用に関するご意見への回答について、ご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>現在、市役所全体で、イベント参加等に活用するフォームである「電子申請システム」が存在し、各生涯学習センターでも、活用しております。また、講座の内容によっては、地域の自治会を通した回覧板やホームページ等、地区内の人を募集する場合もあることから、「電子申請システム」を状況に応じて活用しているところでございます。</p> <p>スピード感については、世の中のデジタル化が進む中、住民一人一人がデジタル技術についての知識を持つことは、重要だと考えていますが、短時間で、全ての方が、QRコードや電子申請システムを活用することは難しいと感じていることから、当面の間は、皆さんと技術を高めていき、アナログとデジタル技術、双方の技術のいいところを活用しながら、徐々に生活に合わせていきたいと考えております。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。他にご意見・ご質問はございますか。</p>
委員	<p>2点ございます。令和5年度の実績を見ると、参加者は70代が多く、50代の参加者がほとんどいない印象があります。18歳以上の中には50代はいると思いますが、できるだけ満遍なく、40代から60代が興味を持ち、参加できる講座の実施を希望します。できれば、50代を対象に、これからの地域を担う人材を育てる講座の実施があると良いと思います。</p> <p>また、世代間交流については、実際の親子でなくても、例えば、子育て中の若い世代と、子育てがひと段落した世代と、世代がずれている人たちの交流ができればと考えます。極端に言うと、若い人が愚痴を言えば、大</p>

人のお母さんが知恵を話してアドバイスをするなど、自分の血縁でないからこそ、言いたいことも言え、聞きたいことも聞けるといった世代間交流ができれば良いと思います。これは、若い人と高齢者、小学生と高齢者など、どの世代でも構わないので、このような世代間交流の機会を増やしてもらえればと思います。

委員長

1点目は、多くの方（特に若い世代）が参加しやすい生涯学習センターの事業の実施について、2点目は、世代間交流の一環として、子育てをしている世代と子育てがひと段落した世代との交流を増やすことが、子育て支援にもつながるとのことかと思えます。この2点について、事務局からご説明をお願いいたします。

事務局

どちらのご意見も課題として捉えているところではございます。今後も、40代・50代という働き世代のための生涯学習講座や、世代間交流を意識した講座を実施してまいりたいと考えております。

委員長

ありがとうございます。他にご意見・ご質問はございますか。

委員

報告の中にはございませんが、魅力ある学校づくり地域協議会が、地区や学校で組織化されていると思いますが、PTA会長が代表となっているところ、または、各地区の団体長が代表となっているところ、それぞれによって、内容や方向性が変わって来ると思えますので、それぞれ何校ぐらいあるのか、内訳が分かれば教えていただきたいと思えます。

委員長

この場でわかりますでしょうか。わからなければ、改めてお答えをお願いいたします。

事務局

全94校中、PTA会長や各地区の団体長が会長をされている学校がそれぞれございますが、その内訳に関しては、後日回答させていただきます。

**（【阿久津節子委員へ回答済】）**

**【魅力ある学校づくり地域協議会の内訳】**

魅力ある学校づくり地域協議会：全94校

- ・現PTA会長：10人
- ・元PTA会長等：46人
- ・地域団体長：13人
- ・その他：25人

委員長

後ほどご報告いただくということによろしいでしょうか。よろしく願いいたします。

委員	<p>議事とは直接関係ありませんが、私が青少年育成協議会会長の在任時、「リーダー講習会」を実施したときの、生涯学習センターとの関わり合いについて、少しお話させていただきます。過去の話のため、生涯学習課の回答を求めるものではございませんので、ご承知おきください。私は、青少年育成協議会で約20年活動しております。育成会の活動の一つである「リーダー講習会」は、今年で43回目となり、生涯学習センターの副所長から、個人の意見ではなく、市の総意として、「リーダー講習会」は40回も実施しており、目的は達成したので、違う活動へ変えてはどうか。」と提案をされました。副所長からの意見の提案後は、育成会単体で活動をしておりました。現在は、大根田所長のもと、センターに協力をいただきながら、何の問題もなく、共催で実施できておりますが、あの時の市の方針が変わったとは思いませんが、何だったのだろうと思いを抱えており、話をさせていただきました。</p>
委員長	<p>私がお話を伺ったところでは、活動の継続性というところで、行政は、特に活動の担い手の皆さんのニーズもしっかり把握されることが重要ではないかと受け止めました。ご意見ありがとうございました。</p>
委員長	<p>それでは、時間の関係もございますので、特段ご意見がないようであれば、協議事項(1)「令和5年度生涯学習センター事業実績及び令和6年度生涯学習センター事業計画(案)」について、この案を承認するという事で、よろしいでしょうか。</p>
全員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。それでは、協議事項(1)「令和5年度生涯学習センター事業実績及び令和6年度生涯学習センター事業計画(案)」は、承認といたします。</p>
委員長	<p>それでは、次に、議事の2点目、報告事項に移らせていただきます。まず、報告事項(1)「令和6年二十歳を祝う成人のつどい」について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p><b>【令和6年二十歳を祝う成人のつどいについて 説明】</b></p>
委員長	<p>「令和6年二十歳を祝う成人のつどい」について、説明が終わりました。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたら、お願いいたします。</p>
委員	<p>「二十歳を祝う成人のつどい」に招待される方々は、各学校で決めているのでしょうか。</p>

委員長 事務局からご説明をお願いいたします。

事務局 「二十歳を祝う成人のつどい」に関しましては、各中学校区で実施委員会を立ち上げており、その実施委員長が招待するものと、市長が招待するものとがございます。

委員長 ありがとうございます。他にご意見・ご質問はございますか。

委員 当日の準備もさることながら、実施委員会の立ち上げも、今年は夏休みで早かったと聞いております。以前は11月頃から実施委員会を立ち上げ、マニュアルに沿って実施していくという印象でした。今年は、実施委員になってくれる、20歳を迎えた人たちが集まりやすい、夏休みのお盆前後に実施委員会を立ち上げ、対応したという点で、良い取り組みではないかと思いました。

委員長 貴重なご意見ありがとうございます。今後、継続しながら、実施していただければと思います。他にご意見・ご質問はございますか。よろしいでしょうか。それでは、他にご意見がないようですのでこの件につきましては、以上といたします。

委員長 続きまして、報告事項(2)「第45回全国公民館研究集会・第63回関東甲信越静公民館研究大会長野大会」について、事務局からご説明をお願いいたします。

事務局 **【第45回全国公民館研究集会・第63回関東甲信越静公民館研究大会長野大会について 説明】**

委員長 「第45回全国公民館研究集会・第63回関東甲信越静公民館研究大会長野大会」について、説明が終わりました。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたら、お願いいたします。

委員長 特にご意見がないようですので、この件につきましては、以上といたします。

委員長 以上をもちまして、本日予定していました内容はすべて終了いたしました。

委員の皆様、円滑な会議の進行へのご協力ありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

事務局 坪井委員長、ありがとうございました。

ここで、事務局から事務連絡がございます。

事務局

【次回の会議日程について 説明】

事務局

本日は、委員長をはじめ、委員の皆様，長時間にわたるご審議，誠にありがとうございました。

以上をもちまして，令和5年度第2回宇都宮市生涯学習センター運営審議会を閉会させていただきます。

本日は，ありがとうございました。